

Cente Technical Information

発行番号	001-0061	Rev	第1版	発行日	2019/10/11
題名	DHCPで割り当てられたIPアドレスが不適切でもそれを使用してしまう不具合				
情報分類	障害情報				
適用製品	<ul style="list-style-type: none">•Cente TCP/IPv4 Ver.1.00 – Ver.1.35•Cente TCP/IPv4 SNMPv2 Ver.1.00 – Ver.2.22•Cente TCP/IPv4 SNMPv3 Ver.1.00 – Ver.2.22•Cente IPv6 Ver.1.00 – Ver.1.45•Cente IPv6 SNMPv2 Ver.1.00 – Ver.2.22•Cente IPv6 SNMPv3 Ver.1.00 – Ver.2.22				
関連資料	なし				
<p>【該当するユーザ環境】 以下の条件の両方に該当するユーザ。 •Cente TCP/IPv4が、自IPアドレスをDHCPで取得する。 •DHCPサーバが、不適切なIPアドレスを割り当てる。</p> <p>【障害内容】 「URGENT/11」と呼ばれる11の脆弱性のうちの1つ、「Logical flaw in IPv4 assignment by the ipdhcpc DHCP client (CVE-2019-12264)」が、CenteTCP/IPv4のDHCPクライアントで該当します。 Cente TCP/IPv4のDHCPクライアントは、DHCPサーバから割り当てられたIPアドレスが不適切(マルチキャストアドレスやブロードキャストアドレスなど)でも、そのまま使用していました。この場合、他機器と正しく通信できません。</p> <p>【Centeでの対応】 DHCPサーバが不適切なIPアドレスを割り当てた際の規程は、RFC2131にはありません。割り当てられたIPアドレスをそのまま使用していました。これを、割り当てられたIPアドレスを確認し、不適切な場合は使用しないようにします。IPアドレス割り当て要求を規程回数繰り返しても有効なIPアドレスが割り当てられない場合は、静的に指定した固定IPアドレスを使用します。 (詳細については、営業担当またはsupport@cente.jpまでお問い合わせください)</p> <p style="text-align: right;">以上</p>					